



★このニュースレターは皆さまに事務所のことをもっと身近に感じていただきたいと願い発行しています。

# せのじむ法務ページ

平成30年7月号  
Vol.123

★下痢のときはリンゴを皮ごと食べるとよい。リンゴの皮と実の間にあるペクチン(食物繊維)が腸内環境を整えてくれる

## 今月の読みどころ

★お気づきになられたでしょうか!? 先月号より誌面をリニューアルしました。これからも皆さまに楽しんでいただけるニュースレターにしていきたいと思います。皆さまからのご感想は励みになりますので、またお聞かせくださいね。(妹尾)

★私たちの働き方改革 「働き方改革のポイントは、まず『やめる』」

★おススメの書籍 「ハローワークに特化した採用方法がわかる」

★チャレンジカンパニー 「『食の楽しみ』をお届けする宅配専門のお弁当屋・笠岡市」

## 徒然なるままに Vol.85

### 「年をとった時どんな味を出せるか」

先日、自分の年齢を間違えた社会保険労務士の妹尾です。しかも1つ多くです。(涙)

年齢といえば、私がいつも購読しているメルマガに次のような記事が掲載されていて、とても面白かったので、ほぼ原文のままご紹介しますね。(ここから↓)

中国古典に「曲礼」(きょくらい)という『礼記(らいき)』の一篇があります。「曲」というのは「くわしい」という意味です。

その「曲礼」の中に「年齢」のことが書いてあります。

人生まれて10年を「幼」という—学ぶ。(教えを受ける年齢ということです)

20を「弱」という—冠す。(冠をつける年齢だということです)

「弱冠」というのはここからきたようです)

30を「壯」という。

40を「強」という。

50を「艾」(がい)という。

60を「耆」(き)という。

70は「老」という。

80、90を「耄」(てつ)という。

30代はエネルギーが旺盛です。まさに壮です。40になると、それがさらに強くなる。50は「艾(がい)」。艾というのは、頭に白いものがまじってくるという意味のようです。ごま塩頭というやつですね。

ただ、艾(がい)には、刈りとるという意味もあるようですが、30代、40代は意気盛んである故に、いろんなムダなものをつけている。そういうムダなものを取り去り、省いていく—そういう年齢だということだと思います。

そして60は「耆(き)」。これがおもしろいですね。「老」の上の字に「旨」で「き」といいます。「旨」というのは「うまい」ということです。「うまい」というのは、あまいとか酸っぱいとかという単純な味ではない。

5つの味をミックスした、たとえようのないデリケートな味のことをいいます。

だから、これに手ヘンをつけると、「指」—指というのは独得のデリケートな働きをしますね。魚ヘンをつけると、「鮓(すし)」—独得のうまい食物です。つまり、「耆(き)」というのは、人生のあまいもからいも、あらゆる体験を通して、なんともいえない人間の風味がでてくる年齢だということです。

この伝でいえば、60代は人生の黄金期といえそうですね。

70は「老」。これは「老い」という意味もありますが、「練れる」「熟する」という意味もあるのです。「耆(き)」がさらに練られ、熟していく年齢です。

そして、80、90は「耄(てつ)」。「老」—すなわち「練」がさらに至るといことです。

(『人に長たる者』の人間学』伊與田覺著より)

(ここまで↑)

いかがでしょうか。年はとっていく(過ぎていく)ものではなく「積み重ねていくもの」であることに気づかされます。しかも年齢よりに目標があるのです。60代になったとき、どんな「味」が出ているのか、それは今をどのように生きるかによるのです。

私も50才になったら、意気盛んなときに身につけたムダなことを省いていくことを忘れないようにしたいと思います。ついでにムダなお肉も省けたらと思います。(笑) (文/妹尾 悟)





今月の事務所スタッフのつぶやき

●木下大サーカスを見に行きました！



こんにちは、片山です。
4年ぶりに木下大サーカスが、岡山に。生協で安くチケットを購入し、いざサーカスへ！
…ですが、11時からの公演を見たくて行ったのに、長蛇の列…。しかも、13時40分からの優先整理券を配っている状態でした。正直、ビックリしました。サーカス、すごいですね。甘く見ていました。ごめんなさい(><)
並んでいましたが、13時40分からの回にも入れない(あと整理券も100組分しかない)ということで、急いで特別自由席1席800円を購入し、何とかその日にサーカスを見ることができました！

一言、すごかったです。会場中を巻き込んであっという間の2時間でした。さすが、プロはすごいですね。子供たちも飽きることなく、終わってからずっと興奮していました。
途切れることのないスムーズな進行、すばらしいです。プライベートでも仕事でも、私もそういう風になりたいです!(^^)!

(文/片山小百合)



チャレンジ！カンパニー訪問



お食事宅配のあじ菜

笠岡市小平井2658-2
電話 (0865)66-2826

●今月は笠岡市小平井でお弁当の宅配をしている「お食事宅配のあじ菜」さんを訪問しました。高齢者や健康志向の方へお弁当の宅配を笠岡・里庄町を中心に行っています。

代表●佐藤 誠さん

▼前職までの経験を活かし地元の方へ「食の楽しみ」を届けたいという信念で2012年創業。お任せ日替わりが特徴で、生野菜がこだわり。店名「あじ菜」の由来にもなった。



●手間ひまかけて作るお弁当は安心、美味しいだけでなく、目で見て楽しめます。佐藤さんのこだわりが詰まっています。

●今月のチャレンジインタビュー

お相手:代表・佐藤誠さん、聞き役:妹尾悟

- 妹尾 : 今日はよろしくお願いします。まず、あじ菜さんの事業内容を教えてください。
佐藤 : 笠岡市、里庄町を中心に一人暮らしのお年寄りや健康志向の女性に昼食弁当の宅配事業をしています。
妹尾 : 創業のきっかけを教えてください。
佐藤 : 地元のスーパーが閉店になり、近所の人が食べ物の購入に困っているという話を聞き、独立を決意しました。それまでずっと飲食関係の仕事をしてきたのですが、お弁当を作った経験がなく独立から3年ぐらいは試行錯誤の連続でした。
妹尾 : あじ菜さんの商品の特色を教えてください。
佐藤 : お任せ日替わりなので、今日はどんなお弁当が来るのか楽しみにしてもらっています。食材はできあいのものを使わず、野菜はほとんどが生野菜です。また、メインのおかずからアレルギーやその人が食べられない物を別のメニューに変更するなどして、お客様のご要望に応えるようにしています。
妹尾 : 今後のビジョンを教えてください。
佐藤 : 外で働いていて、お子さんに手作りの食事を作ってあげられない家庭向けに食事の宅配を始めたいと考えています。うちのお弁当は、添加物は極力使わず、出汁(だし)も毎朝とってるので、育ち盛りのお子さまにも安心して食べてもらえます。また、たまに贅沢をしたいお客様向けにご当地食材にこだわった食事や、パン屋さんと提携して、お弁当といっしょにお届けすることも企画しています。

妹尾 : うかがっているとワクワクしますね。これからも、ますます地元の方へ「食の楽しみ」をお届けください。